

はたかむ 通信

(公社) シャンティ
国際ボランティア会
クラフトエイド

2013年 冬号



いつもクラフト・エイドを温かく支えてくださりまして、大変ありがとうございます。すっかり寒くなってまいりましたが、いかがお過ごしですか。冬はクリスマス・セール、そして冬季限定フェアトレード・チョコレート販売、年始、バレンタインに合わせて大忙しのクラフト・エイドです。たくさんのボランティアさんにお手伝いいただいています。皆さんに支えられて、クラフト・エイドは活動を継続できています。

生産者団体「シーカ・アジア」

急激な経済発展の影で、農村の人々は大都市に仕事を求めて集まり、なかにはスラムと呼ばれる劣悪な環境で生活せざるを得ない人々もいます。バンコクにある数多くあるスラムの中で、最大なのがクロントイスラムです。スラムで暮らす女性たちは教育の機会がごく限られ、安定した職につくことができません。

そこで1987年に女性たちを対象に職業訓練施設として開設されたのが『シーカ・アジア』です。縫製作業を中心にバッグやポーチを作り、女性たちの経済的な自立を目指しています。現在は自治組織も確立しておりスラムの中も整備されています。

寄り添って暮らす

「ダダダー・・・」扉を開けるとミシンの音が響きます。現在は縫製担当が6名います。仕事中はミシンの音だけが響きますが、お昼時間になるとみなでお弁当を持ち寄り、わいわい賑やかな様子になります。

スラムの中は迷路のような道が続き、隣の家と密接した家が立ち並んでいます。みんな知り合いなので「〇〇さんはいますか？」と聞くと「どこどこにいたよ。」親切にも案内して連れて行ってくれる人もいます。地域の人と助け合いながらみなさん暮らしています。

生産者の声

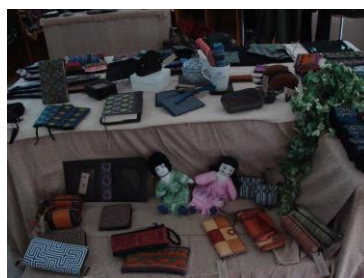
ヤオさんはここで働き始めて12年になります。家族は自分と母親、娘、息子の4人家族です。始めは縫製をしたことがなかったので、ここで教えるもらいながら覚えられました。大切にしているものは家族です。子ども達には1番の教育を受けさせたいと思っています。

得意料理はチャーハン・中華スープ。好きな言葉は「今日1日が一番良い日になりますように。」です

娘さんのピヤオさん

「好きなことはTVを見ることです。コンピューターや語学を学びたいと思っています。将来は自分の店を構えたいと思っています。

勤務年数が長くベテランのスタッフが多くなっています。少人数ですが頑張って沢山ある注文にも取り組んでいます。記念品や贈り物などへのご注文にも対応できますので是非お声かけください。



シーカ・アジア内にあるショップ



ランチの様子



ヤオさん一家



スラムの迷路

シーカー・アジアの
おすすめアイテム

タイ絣「マッドミー」シリーズ

シーカー・アジアでは、マッドミーを使った商品をたくさん揃えています。「マッドミー」とは、タイ語で「絣織り」のこと。手織りならではのぬくもりを感じてください。

「マッドミー2WAYバッグ」

¥5900



使い分け
便利！



たっぷりサイズで肩ひもの取り外しができます！軽くて1つ持っているだけで便利。ちょっと遠出にも◎。

「マッドミーくるくる箸ケース」

くるくる巻いて
楽しく！

モン族の
刺繍つき



¥1400

箸以外にも、めがねや扇子やペンなど、用途や形に合わせてくるくる収納！



「ウィメンズショップ パッチワーク」

長谷川輝美さん

私の好きなクラフト・エイド

小さな頃から刺繍が身近にあるモン族の暮らしは、私のあこがれです。数あるクラフトの中で一番のお気に入りには、「ラオスの森のポーチ」。事務所の通路に座り込んでたくさんのストックの中から「お気に入り」を選んでみると、おばあちゃんの器用な手元に目をこらしながら、針を動かす少女たちやカラフルな糸に姿を変える鶏や山羊のいるのどかな村の様子が浮かんできます。雨季の風景なのか、滝や川、池が加わると、動物たちもイキイキと動き出して、珍しいトラが歩き回ったり、魚をくわえた鳥の姿も現れ、思わず口元がゆるみます。

もう一つ挙げると、同じくモン族の刺繍の「シブライ村の財布」「パスケース」。クロスステッチの幾何学模様が美しく、膝の上に並べた候補を見比べながら、一つとして同じものが無い手仕事の面白さに、つい時間を忘れて予定をオーバーしてしまいます。

こうして自分が選んだものたちが、また選ばれてフェアトレードのある暮らしが広がっていく、そんな楽しい連鎖を生み出す仕事に喜びを感じています。

Topics 冬のセール

12月は20日までクリスマス・セール&冬季限定チョコ販売をしています。

1月から2月にかけては、福袋、チョコを販売します！

詳しくはネットショップをご覧ください！

<http://craftaid.jp/>



スタッフからのつぶやき

こんにちは、藤川です。SVAに長〜く務めています。総務課、海外事業課も経験していますがクラフト・エイドの担当が一番長くやっています。その間に出産・育休をはさみ、あっという間に一人息子は2年生になりました。子育てしながらの仕事は毎日がバタバタです。でも、クラフト生産者のお母さんたちのことをより一層身近に感じるようになりました。わが子を学校に通わせるため、食べ物や薬を買うため、家族の生活を支えるために生産者の女性たちも誇りと自信を持ってクラフト作りの仕事をしているんだなあ、と。



公益社団法人

シャンティ国際ボランティア会

クラフト・エイド 〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3F

TEL:03-3350-1981 / ネットショップ <http://craftaid.jp/>